

今年の夏は暑い。高知県では41℃を記録。日中だけでなく寝苦しい夜も続いています。まさに猛暑酷暑です。みなさん体調を崩していませんか？そのような中、今回は7年ぶりに出場した千葉県大会（千葉日報杯）の熱戦の様子を特別号としてご紹介します。試合結果は、大変厳しい結果となりましたが、今回の試合結果を、しっかりと受け止めて・・・秋以降の活動に活かしましょう。夏休みの宿題もしっかり終わらせてくださいね。

千葉日報杯争奪千葉県少年野球大会 8/4(日) 船橋高瀬球場 VS 久住サニーズ (北総地区代表)



東部 0 1 1 0 2 4回時間切れコールド
久住 5 3 4 × 12 残念ながら・・・初戦敗退でした。

(投手)伊木一 (捕手)中村颯太
 (2塁打)林、萩野、室橋、伊木 (安打)青木 (打点)萩野、伊木

◆試合展開

1回表に室橋選手の四球で1アウト2塁のチャンスを作りましたが、3番伊木選手と4番石田選手が凡退し、先制機を逸しました。1回裏は、相手チームに5点を先制され、とても苦しい展開となりましたが、2回表には、林選手がセンターオーバーの2塁打。萩野選手はスローボールをしっかりとひきつけて、ライトオーバーの2塁打を放ち、5年生コンビで、すぐに1点を返しました。さらに、青木選手もセンター前に痛烈なヒットでツーアウト2・3塁とチャンスひろげ、ここで1番バッター星野選手に打席がまわり、東部のベンチとスタンドの期待が高まりました。星野選手は、好球必打でナイスバッティングでしたが、打球はセンターの正面。センターライナーに終わり、追加点はなりません。2回裏には、またもや相手チームに3点を取られ7点差となりましたが、あきらめずに、打って、打って、得点を取り返すのが、東部の選手達です。3回表は、2番室橋選手が初球をレフト線に2塁打を打つと、3番の伊木選手も初球をレフト線へ痛烈な2塁打を打ち、わずか2球で1点を返しましたよ。しかし、その後が続かず、中村颯太選手、海翔選手も思い切りスイングしましたが、残念ながら、この回も1点どまりでした。1時間30分という制限時間がせまる4回表は、バッターに焦りが見えて、肩に力が入り過ぎてしまい、最後は代打片山選手のサードゴロでゲームセットとなりました。堀選手、小林選手、松永選手、鈴木選手、西山選手もベンチから大きな声で、的確な指示と声援をおくり、チームを盛りあげました。

◆千葉県少年野球夏季大会開会式(習志野市営秋津球場)

午前8時30分に前年度優勝チームより抽選番号順に入場行進がスタート。全64チーム約1200人が秋津球場のグラウンドを元気良く行進。北方東部は19番目。ブルーのユニフォームがひととき目立ちます。千葉県に少年野球チームが567チームあり、市川市からは春季大会の上位5チームが千葉県大会に参加。すでにご存知の方も多いとは思いますが、翌日8/5の千葉日報朝刊には、千葉日報杯開会式の様子が掲載され、その一面写真を良く見ると・・・たくみ君、萩野君、星野君、中村君、室橋君、琴絵さん・・・最後の義人君までバッチリと東部の選手達が写っていました。ここまできれいに新聞に掲載されたことは、とても良い記念です。試合は残念な結果に終わりましたがその結果も掲載されています。今度は、東部の勝利と優勝の記事を新聞に載せてもらおうぜ。



～秋の千葉県大会および来年以降の千葉県大会にむけて～

◆開会式会場

- ①開会式会場のスタンドの場所は早めにスペースを確保した方が良いです。
- ②野球場スタンドのネットには、各チームの横断幕が掲げられていますので、スタンドの前列からは、開会式の様子は見えませんよ。気をつけましょう。
- ③受付終了後、まず、野球場のグラウンド内で、選手と監督、コーチが写真撮影をします。その後は、開会式まで時間があります。涼しい場所を確保して選手達が座って休んでいるチームもありました。日陰の確保が大切だと思いました。

◆試合会場

- ①各チームもスタンドからメガホンを持参して応援していました。ベンチでは監督だけしかメガホンを使えないそうです・・・。
- ②応援する時は、携帯用(キャンプ用)のイスがあった方が良さそうです。お父さん、お母さんは、猛暑の中ずっ～と立ったままの応援で、大変そうでした。

◆その他

- ①もし第3試合であれば試合会場ではないグラウンドを借りて練習をしたいですね。(第3試合のチームは練習をしてきたそうです)
- ②慣れない遠くまでの遠征で、移動が大変でした。秋は袖ヶ浦まで行くそうです。開会式と試合会場の駐車場場所は、1週間前には関係者に地図などを事前連絡した方が安心です。バスを2台チャーターしているチームもありました。この他にもいろいろなことがわかったと思いますが、普段から大変な監督や部長にお任せしないでみんなで役割分担して率先してサポートしましょうね～。監督と選手には、試合に集中してもらいましょう。来年以降の参考にして下さい。

野球道具のお手入れ

みなさん、まずは野球で利用する道具(チームの道具を含む)を教えてください。グローブ、バット、スパイク、手袋、ヘルメット、レガース、プロテクター、ベース、ボールなどいろいろなモノがありますよね。ところで、東部の選手達は、野球道具を大切に扱っていますか? また自分の道具を試合や練習後にお手入れをしていますか? イチロー選手は、いまでも野球が終わると自分でグローブやスパイクなどをきれいに磨いているそうですよ。

■グローブ・・・まず、乾いた布切れで、グローブ全体の汚れを取り除きます。次に、グローブにオイル(クリーム)を馴染ませて、布切れで徹底的に磨きます。グローブの捕球する側だけでなく、反対面も磨いてから、最後に乾拭きをします。ゆるんだグローブのひもを、結び直して、形を整えましょう。

■スパイク・・・中敷きを入れている選手は、出した方が磨きやすいですよ。また、くつひもを、少しゆるめた方が、磨きやすくなりますよ。まずは、ブラシでスパイク全体の汚れを取り除きます。次に靴墨をスパイク全体に満遍なく染み込ませます。「P革」をつけている選手は、「P革」の上から磨きましょう。

* グローブもスパイクも磨き終わったら、日陰に干して、自然に乾燥させましょう。



■イチロー選手のコメントをご紹介します

「バットの木は、自然が何十年も掛けて育てています。僕のバットは、この自然の木から手作りで作られています。グローブも手作りの製品です。一度バットを投げた時、非常に嫌な気持ちになりました。自然を大切に、作ってくれた人の気持ちを考えて、僕はバットを投げることも、地面に叩きつけることもしません。プロとして道具を大事に扱うのは当然のことです」

さらに「野球が上手くなるためには、道具を大事にすることです」とも語っています。

せっかくお父さんお母さんに買ってもらった、グローブ、スパイク、バットです。



チームの野球道具も勉強で使う鉛筆も消しゴムも同じです。大切にしようね。

■レギュラー

・秋季大会(日ハム杯市川市代表決定戦)
8/31(土)1回戦、9/01(日)準決勝、決勝(妙典球場)

・QP杯(リーグ戦)
ここまで5勝0敗1分(1戦1戦に集中しよう)

・市川北ライオンズ杯
10月に開幕予定。

・住友生命杯
9月1日(日)に開幕予定。(江戸川河川敷球場)

・ブロック対抗戦
9月8日(日)、15日(日)に開催予定。(妙典球場)

・秋季千葉県大会(ろうきん杯)
10月20日(日)に開幕予定です。

⇒詳細は、後日、監督・事務局よりご連絡。

10/20は、夏季大会同様に、開会式から試合会場までの移動が予想されます。夏季大会同様に、1人でも多くのお父さんコーチ、OBコーチの「ご協力」をお願いしますね～。もちろんママも、兄弟姉妹、おじいちゃん、おばあちゃんもせっかくの機会ですので、多くの皆様のご声援をお願いします。日々の練習は、必ず試合での結果にあらわれますよ。練習で流した汗は、決してウソをつきません。これからも、練習を大切にしようぜ。



編集後記

県大会の試合を振り返ると、あっという間の4イニング。あっという間の1時間30分だったと思います。

これが県大会の雰囲気なのですよなえ～。

酒寄代表をはじめOBの皆様、選手のお父さん、お母さん、兄弟姉妹、ジュニアチーム関係者の皆様、猛暑・酷暑の中、たくさんのご声援を頂き、本当にありがとうございました。

秋の県大会は今回の経験を活かして、参加するだけでなく、必ず勝利しよう。自分のベストパフォーマンスを試合で発揮できるように日々の練習を大切にしようぜ。6年生は、あと4ヶ月だよ～。

